

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-19 市民農園事業				タイムスコード及び個別事業名		
		□支援部門				351	市民農園事業
主管課	産業振興課		関連課				
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	市民生活と密着した都市農業の振興						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
	利用者数	132人	140人				
運営資源 状況	決算値	778千円	2,630千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	市民農園区画利用率	
	(負担金等)		1,692千円		評価	◎	
	(一般財源)	778千円	938千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	0.3人	0.3人			目標値	実績値
	人件費	2,756千円	2,886千円		20年度	100%	100%
	協働の パートナー				21年度	100%	100%
事務事業 運営経費	総事業費	3,534千円	5,516千円		22年度	100%	
	市民1人当 りの経費	20円	31円		23年度	100%	
	対象者1人 当りの経費	26,773円	39,400円		最終年度 (年度)		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
	1年間の利用料						
	1区画当たりの㎡数						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)新たな市民農園開設に向けての検討					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)他市の事例研究を行った。市民農園用地の調査を行った。 (2)大船地区市民農園土地所有者との調整を行った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)新たな市民農園の開設 (2)大船地区の市民農園の継続使用に向けた土地所有者との調整					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)新たな市民農園開設に向けての検討では、事業主体は、市に限らず、他の運営方法も含めた検討を進めていく。 (2)地域のバランスを考慮して、広さや区画数など、開設目標を検討する。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	土に触れる、自然と向き合うことのできる市民農園は、幅広い年齢層にニーズがある。そのため、適地や運営手法についての検討が必要である。		評価結果	改善の必要性	近年、市民農園は、民間参加が可能になり、幅広い年齢のニーズがあるため、ビジネスとして成立する可能性がある。今後はJAや民間などの参入を検討する。	
B	有			B	有		
課長名		川村 裕伸		部名・部長名		小磯 一彦	